



THR Series Guitar Amplifier

THR10/THR10C/THR10X
THR5/THR5A

Owner's Manual

取扱説明書

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manuale dell'utente

Manual de instrucciones

Руководство пользователя

使用手冊

사용설명서



EN JA DE FR IT ES RU ZH KO

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Русский

中文

한국어



THR Series Guitar Amplifier

THR10/THR10C/THR10X
THR5/THR5A

取扱説明書

目次

安全上のご注意	22
はじめに	25
特長	25
パッケージの内容	25
付属のディスクについて	25
各部の名称と機能	26
コントロールパネル	26
リアパネル	31
接続	32
接続例	32
電源	33
コンピューターと接続して使ってみよう	34
ソフトウェアのインストール	34
接続と操作	35
困ったときは?	37
仕様	38
保証とアフターサービス	39
保証書	40




安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について この製品や取扱説明書に表示されている次のような意味があります。

-  : 「ご注意ください」という注意喚起を示します。
-  : 「～しないでください」という「禁止」を示します。
-  : 「必ず実行」してくださいという強制を示します。



警告

この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず付属のものを使用する。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、けが、または故障の原因になります。



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



禁止

電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。電池は一度に全部を交換してください。新しいものと古いものを一緒に使用すると、発熱、火災、液漏れの原因になります。



禁止

種類の異なる電池を一緒に使用しない。アルカリとマンガンと一緒に使用したり、メーカーまたは品番の異なる電池を一緒に使用したりすると、火災、発熱、液漏れの原因になります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

電池はすべて+ / - の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・電源コード / プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおい煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



禁止

たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

電池は指定 (33 ページ) 以外のもを使用しない。

本機の機能を十分に発揮できなったり、動作不良や故障などの原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

本体の放熱用スリットに本などを置いて、ふさがない。

本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最少にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

●製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。

- ・使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。
- ・電源スイッチを切った状態 (電源スイッチがスタンバイの状態) でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・使用済みの電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります（5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています）。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。

■データの保存に関する注意

- 保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USB 記憶装置 / コンピューターなどの外部機器に保存してください。
- 保存した USB 記憶装置 / 外部メディアの万一の事故に備えて、大切なデータは予備の USB 記憶装置 / 外部メディアにバックアップとして保存されることをおすすめします。

■データの著作権に関するお願い

- ヤマハ（株）および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品は、ヤマハ（株）が著作権を有する著作物やヤマハ（株）が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVE データ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ（株）の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- この取扱説明書で説明に使用されている製品イラストは、断りのない限り THR10 および THR5 です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac または Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

はじめに

このたびはヤマハ THR ギターアンプをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

■ 特長

- ・コンパクトなボディサイズながら、ギターサウンドもオーディオサウンドも、プロクオリティの音質を誇ります。
- ・ヤマハ独自の「VCM Technology*」を駆使した、新開発のアンプモデリングを搭載。各操作子の操作感まで再現したインターフェースで、リアルなギターアンプサウンドを実現。
- ・先端のオーディオ技術も備えたヤマハだからこそ実現した、ハイクオリティのオーディオサウンド。パソコンで再生した曲を USB 経由で鳴らしたり、AUX IN に接続したスマートフォンやミュージックプレイヤーで再生した曲を鳴らすことができるので、場所を問わずに、本格的なセッションが可能です。
- ・ヤマハハイエンドミキサーなどに採用されている高品質「VCM エフェクト」を搭載。
- ・ヤマハ独自の技術である「エクステンデッドステレオ」を搭載。本体サイズからは想像できない広がりのあるステレオ再生を実現。
- ・プロクオリティの音楽制作ソフト「Cubase AI」のダウンロードアクセスコードを同梱。自宅での本格的録音が可能です。
- ・AC 電源と電池駆動の 2 電源方式。屋外など電源のない場所でも使用可能。
- ・クロマチックオートチューナーを内蔵。

* VCM Technology とは？

ヤマハ独自の技術である「VCM Technology」は、アナログ回路の特性を素子レベルでモデリングし忠実に再現することを可能にする技術です。

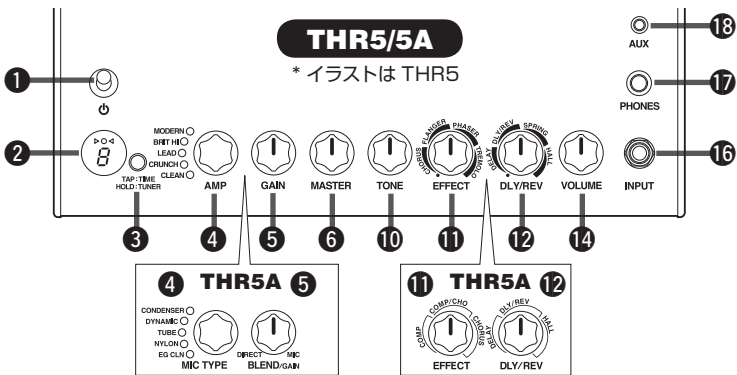
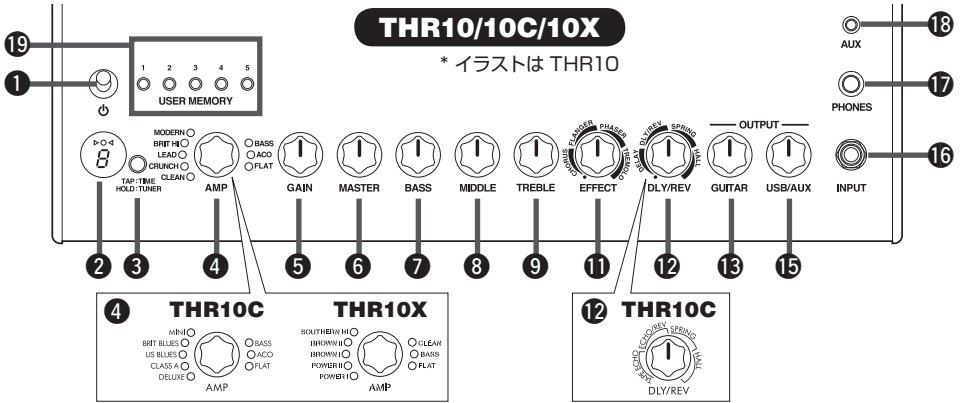
■ パッケージの内容

本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています。箱を開けたらまず同梱品を確認してください。

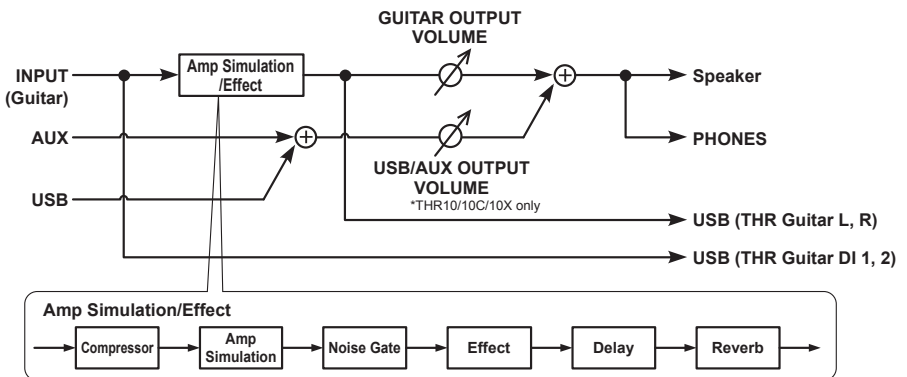
- ・ THR ギターアンプ本体
- ・ 電源アダプター
- ・ 取扱説明書（本書：保証書付き）
- ・ ステレオミニケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ Cubase AI ダウンロードアクセスコード

各部の名称と機能

■ コントロールパネル



● アンプシミュレーションとエフェクトのブロック図



① 電源スイッチ

本機の電源スイッチです。
電源オン時、選ばれているアンプタイプのランプとスピーカーキャビネット内のパワーランプが点灯します。

* スピーカーキャビネット内のパワーランプの点灯 / 消灯は、「THR Editor」(36 ページ) で設定することができます。

② LED ディスプレイ

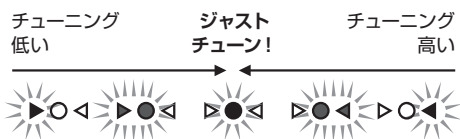
THR ギターアンプの各種設定や状態を表示します。

③ TAP/TUNER

■チューナー機能

1 秒間長押しすると、チューナー機能がオンになり▷◁が点灯します。

基準ピッチ A4=440Hz 専用のチューナーです。合わせたい音名がディスプレイに表示されるようにギターをチューニングします。▷◁中央の○だけが点灯するようにチューニングできたら OK(ジャストチューン) です。



TAP/TUNER スイッチを短押し (1 秒以下) すると、チューナー機能がオフになります。

* チューナー機能がオンの状態では、ギターの音は本体スピーカーおよび PHONES、USB に出力されません。AUX および USB からの入力は出力されます。

■タップテンポ機能

DLY/REV¹² で DLY または DLY/REV エフェクトを設定している場合、このスイッチを押す間隔 (2 回以上) で、ディレイ音のテンポを設定することができます。

■エクステンデッド ステレオ設定

3 秒以上長押しすることで、エクステンデッドステレオ* のオン / オフを切り替えます。

オン : LED² の「#」消灯 (初期設定)

オフ : LED² の「#」点灯

* エクステンデッドステレオ : ステレオ出力の広がり感をより強調する機能。AUX、USB のステレオ入力に対して有効です。また、DLY/REV¹² で DLY/REV または HALL エフェクトを選択している場合にも有効です。

* エクステンデッドステレオの設定 (オン / オフ) は、電源を切っても保持されます。

④ AMP

(THR10/10C/10X および THR5 のみ)

アンプタイプを選択します。選択されているアンプタイプのランプが点灯します。

* 電源を入れた際、前回選択されていたアンプタイプが選択されます。

■音作りのヒント

各アンプタイプ (ACO、FLAT 除く) では、GAIN⁵ と MASTER⁶ の組み合わせで幅広い音作りが可能です。

適切に GAIN⁵ を設定し MASTER⁶ を上げることで、パワーアンプの歪みを再現できます。ギター全体のボリュームを GUITAR OUTPUT¹³ (THR5 は VOLUME¹⁴) で調節することによって、十分に歪ませながらも、小さい音量で楽しむことができます。THR ギターアンプは VCM Technology による新開発アンプモデリングを搭載し、各アンプの操作子による動作特性まで忠実に再現します。

アンプタイプの説明 : THR10/THR5

CLEAN : ジャズやブルース、カントリーサウンドのための、6L6 管のパワーアンプからの豊かなクリーントーンが特徴です。

* BASS、MIDDLE、TREBLE をすべて 0 にした場合、ギター音は出力されません。

各部の名称と機能

CRUNCH : 低出力クラス A アンプの、明るくて鮮明でありながらダイナミックなパワーアンプの歪みを再現します。

LEAD : 程よいゲインのプリアンプと EL34 管のパワーアンプの結合による、ミッドレンジの素晴らしい往年のイギリス製アンプの歪みを再現します。

BRIT HI : ハイゲインプリアンプと EL34 管のパワーアンプによるワイルドで強烈な歪みが自慢のイギリスアンプのサウンドです。

MODERN : ハイゲインプリアンプと 6L6 パワー管の組み合わせによる、滑らかでパワフルな歪みと素晴らしいパワーアンプのコンプレッションが特徴です。

●以下の 3 タイプは THR10 のみ

BASS : ロックベースに最適なフルチューブベースアンプサウンドです。

ACO : エレクトリックアコースティックギター用のアンプです。マイクシミュレーションによって自然なアコースティックギターサウンドを実現します。

FLAT : 入力された信号をそのまま出力します。トーンコントロールおよび EFFECT, DLY/REV は機能します。

アンプタイプの説明 : THR10C

DELUXE : クリアかつ豊かなクリーントーンが特徴的なアメリカンコンポアンプです。12 インチスピーカーキャビネットの特徴的なサウンドを再現します。

CLASS A : ブティックアンプを代表する、クラス A アンプの明るくかつ温かい歪みを再現します。ブルースやカントリープレーヤーが好むサウンドです。

US BLUES : 鮮やかなミッドレンジが特徴的なアメリカンブルースコンポアンプです。小さなキャビネットで鳴る独特な音を再現します。

BRIT BLUES : 程よいゲインのプリアンプと EL34 管のパワーアンプの結合による、素晴らしいミッドレンジを持つ往年のブリティッシュコンポアンプの歪みを再現します。

MINI : シンプルな回路から出力される素直な歪みが特徴のミニアンプのサウンドを再現します。ギターのボリュームコントロールやピッキングニュアンスに敏感に反応します。

BASS, ACO, FLAT : THR10 と同じです。左欄をご参照ください。

アンプタイプの説明 : THR10X

POWER I : 分厚い重低音が特徴のドイツ製ハイゲインアンプのクランチチャンネルを再現しています。

POWER II : POWER I チャンネルにさらに低音とゲインを加えたリードチャンネルです。

BROWN I : アメリカンハードロックを代表する特徴的なサウンドを再現します。切れ味がよくタイトなバックングに最適です。

BROWN II : BROWN I チャンネルに豊かな低音とサステインを加えたチャンネルです。

SOUTHERN HI : 強烈なハイゲインプリアンプと 6L6 パワー管の組み合わせによる、激しいメタルサウンドが特徴です。

CLEAN : クリアかつ豊かなクリーントーンが特徴的なアメリカンコンポアンプです。12 インチスピーカーキャビネットの特徴的なサウンドを再現します。

BASS, FLAT : THR10 と同じです。左欄をご参照ください。

4 MIC TYPE (THR5A のみ)

アコースティックギターの音をマイクで拾うシミュレーションのタイプ (EG CLN のみギターアンプのタイプ) を選択します。選択されているマイクタイプのランプが点灯します。

* 電源を入れた際、前回選択されていたマイクタイプが選択されます。

■音作りのヒント

各マイクタイプ (EG CLN 除く) では、BLEND/GAIN **5** で、ピックアップダイレクト音にミックスするマイクシミュレーション音の量 (ブレンド量) を調整することができます。ギター全体のボリュームは、VOLUME **14** で調節します。

マイク・アンプタイプの説明: THR5A

CONDENSER: アコースティックギターの音をコンデンサーマイクで拾ったようなサウンドを再現します。豊かなミッドレンジが特徴です。

DYNAMIC: アコースティックギターの音をダイナミックマイクで拾ったようなサウンドを再現します。芯があって引き締まった音が特徴です。

TUBE: アコースティックギターの音を真空管マイクで拾ったようなサウンドを再現します。豊かなミッドレンジが特徴です。

NYLON: クラシックギターやエレキギター用ナイロンギター演奏に最適なサウンドです。

EG CLN: エレキギター用のアンプタイプです。クリアかつ豊かなクリーントーンが特徴的なアメリカンコンボアンプです。12 インチスピーカーキャビネットの特徴的なサウンドを再現します。

5 GAIN

(THR10/10C/10X および THR5 のみ)

ギター音の歪み量を調整します。時計方向に回すほど歪み量が増加します。

* THR10/10C では、AMP **4** で ACO を選択している場合、ピックアップダイレクト音とマイクシミュレーション音のブレンド機能になります (最小でピックアップダイレクト音のみ、最大でマイク音のみ)。

6 BLEND/GAIN (THR5A のみ)

MIC TYPE **4** で EG CLN 以外を選択している場合、ピックアップダイレクト音とマイクシミュレーション音のブレンド機能になります (最小でピックアップダイレクト音のみ、最大でマイク音のみ)。

MIC TYPE **4** で EG CLN を選択している場合は、ギター音の歪み量を調整します。時計方向に回すほど歪み量が増加します。

7 MASTER

アンプ部の音量を調整します。時計方向に回していくと、シミュレーションしているパワーアンプ部での歪みを再現します。

* AMP **4** で BASS, ACO, FLAT を選択している場合は、音量のみを調整します。(THR10/10C/10X のみ)。

* THR5A では、MIC TYPE **4** で EG CLN 以外を選択している場合は、音量のみを調整します。

8 BASS (THR10/10C/10X のみ)

ギター音の音色を調整します。時計方向に回すほど低域が強調されます。

9 MIDDLE (THR10/10C/10X のみ)

ギター音の音色を調整します。時計方向に回すほど中域が強調されます。

10 TREBLE (THR10/10C/10X のみ)

ギター音の音色を調整します。時計方向に回すほど高域が強調されます。

11 TONE (THR5/5A のみ)

ギター音の音色を調整します。時計方向に回すと明るく、反対方向に回すと暗く変化します。

11 EFFECT

THR10/10C/10X および THR5 では、CHORUS(コーラス)、FLANGER(フランジャー)、PHASER(フェイザー)、TREMOLLO(トレモロ)の4タイプのエフェクトを切り替えます。

THR5A では、COMP(コンプレッサー)、COMP/CHO(コンプレッサー/コーラス)、CHORUS(コーラス)の3タイプのエフェクトを切り替えます。

各エフェクトは時計方向に回すほど効果が深くかかります。

* ツマミを左いっぱいに戻すと、エフェクトオフになります。

12 DLY/REV

THR10/10X および THR5 では、DELAY(ディレイ)、DLY/REV(ディレイ/リバーブ)、SPRING(スプリングリバーブ)、HALL(ホールリバーブ)の4タイプのエフェクトを切り替えます。

THR10C では、TAPE ECHO(テープエコー)、ECHO/REV(テープエコー/リバーブ)、SPRING(スプリングリバーブ)、HALL(ホールリバーブ)の4タイプのエフェクトを切り替えます。

THR5A では、DELAY(ディレイ)、DELAY/REV(ディレイ/リバーブ)、HALL(ホールリバーブ)の3タイプのエフェクトを切り替えます。

各エフェクトは時計方向に回すほど効果が深くかかります。

* ツマミを左いっぱいに戻すと、エフェクトオフになります。

* DELAY または DLY/REV を選択している場合、TAP/TUNER^③ を使ってディレイタイムを自由に設定することができます。

13 GUITAR OUTPUT (THR10/10C/10X のみ)

ギター音の最終音量を調整します。

* このツマミの設定は、USB^②出力には影響しません。

14 VOLUME (THR5/5A のみ)

ギター音の最終音量を調整します。

* このツマミの設定は、USB^②出力には影響しません。

15 USB/AUX OUTPUT (THR10/10C/10X のみ)

USB^②に接続したコンピューターまたはAUX^⑧に接続したオーディオ機器からの、オーディオ再生の音量を調整します。

16 INPUT

ギターを接続する端子です。

17 PHONES

ヘッドフォン用のステレオ標準フォン端子です。ラインアウト端子としても使えます。

* PHONES にプラグを差し込んだ状態では、本体スピーカーから音は出ません。

18 AUX

MP3 プレーヤーなどの外部機器からのオーディオ入力用ステレオミニフォン端子です。

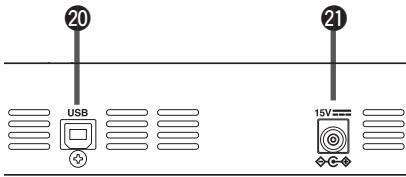
* AUX からの入力信号は、USB^②には出力されません。

19 USER MEMORY (THR10/10C/10X のみ)

アンプ部の各コントローラー (GAIN, MASTER, BASS, MIDDLE, TREBLE, EFFECT, DLY/REV) のセッティング状態を5つまで保存しておくことができます。保存したい番号のボタンを長押し(約2秒)すると、LED ディスプレイにボタン番号が表示され保存が完了します。

保存されたセッティングはそのボタンを短押し(2秒以下)することで呼び出されます。

■ リアパネル



②⑩ USB

付属の USB ケーブルを使って、コンピューターと接続します。

②① DC IN

付属の電源アダプターを接続します。

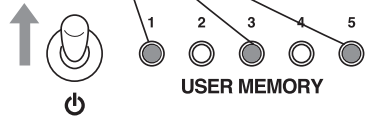
初期化について (THR10/10C/10X のみ)

USER MEMORY 1, 3, 5 を同時に押しながら電源を入れると、ユーザーメモリー 1 ~ 5 の内容をすべて工場出荷時の状態にリセットすることができます。

注意

初期化を実行すると、ユーザーメモリーに登録した内容はすべて工場出荷時の内容に書き換えられます。

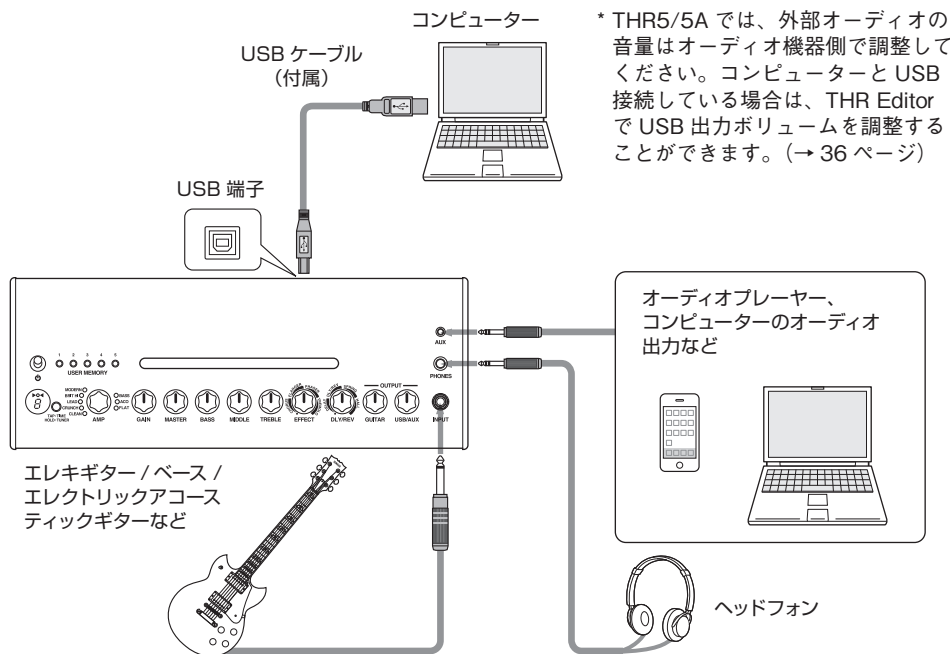
1, 3, 5 を同時に押しながら
電源を入れる



接続

■ 接続例

- 接続は、すべての機器の電源を切った状態で行なってください。
- 外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを用い、確実に接続してください。



USB 端子ご使用時のご注意

THR ギターアンプの USB 端子とコンピューターを接続するときは、右記の注意事項を守ってください。守らなかった場合、コンピューターや THR ギターアンプがハングアップ (停止) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。ハングアップした場合は、アプリケーションやコンピューターを再起動してください。

⚠ 注意

- USB 端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド / スリープ / スタンバイ / 休止) モードを解除してください。
- USB ケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させ、コンピューター側の出力コントロールを最少にしてください。
- USB ケーブルを抜き差しをする前に、THR ギターアンプの VOLUME、USB/AUX OUTPUT を最小にしてください。
- USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

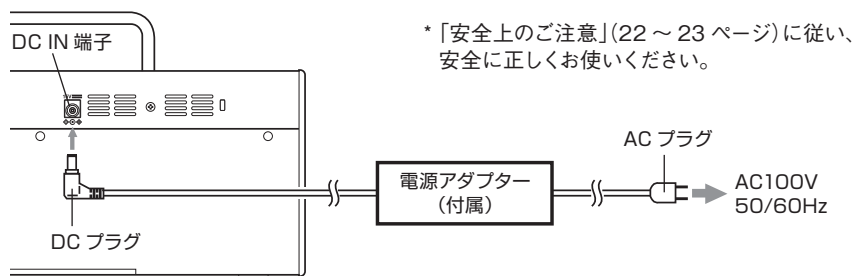
■ 電源

THR ギターアンプは、電源として電池と電源アダプターの両方を使うことができます。

* 電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。電池の液漏れ防止の為、電源アダプターでご使用になる場合は、電池を本体から抜いておくことをお勧めします。

● 電源アダプターを使用する場合

付属の電源アダプターの DC プラグを THR ギターアンプ背面の DC IN 端子に接続します。AC プラグは AC100V 50/60Hz コンセントに接続します。



● 電池を使用する場合

電池は単三形アルカリ電池またはニッケル水素電池 * をお使いください。

電池は、下記イラストの+/-の極性表示通りに正しく入れてください。

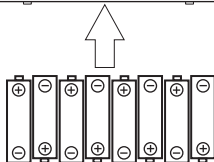
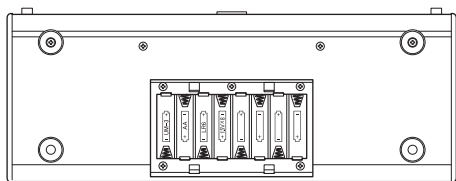
* ニッケル水素電池は eneloop® を推奨します。eneloop を使用する場合は、eneloop の取扱説明書をよくお読みください。(「eneloop」はパナソニック株式会社の登録商標です。)

* マンガン電池はご使用にならないでください。

* 「安全上のご注意」(22～23 ページ) に従い、安全に正しくお使いください。

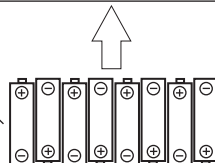
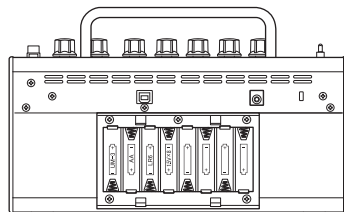
電池の残量がなくなると自動的に電源が切れます。新しい電池に交換、または電源アダプターを接続して再度動作させる場合は、一旦電源スイッチをオフにし、10 秒以上待ってから電源を入れ直してください。

THR10/10C/10X (底面)



単三形アルカリ電池または
ニッケル水素電池 × 8 本

THR5/5A (背面)



コンピューターと接続して使ってみよう

THR ギターアンプは、コンピューターと接続することで、次のことができます。

- ① コンピューターで再生したオーディオファイルを THR ギターアンプで鳴らす。
- ② THR ギターアンプのアンプエディットをコンピューターで行なう。
- ③ 「Cubase AI」を使って録音をする。

上記操作を行なうには、コンピューターに以下の各種ソフトウェアをインストールする必要があります。

■ ソフトウェアのインストール

● ドライバーのインストール

コンピューターと THR ギターアンプを接続して使用するには、ドライバーをインストールする必要があります。

【インストールの手順】

1. 以下の URL から、最新の「Yamaha Steinberg USB ドライバー」をダウンロードし、ファイルの実行および解凍をします。
<http://download.yamaha.com/>
 - * 動作環境については、上記 URL をご覧ください。
 - * ご使用のコンピューター環境によっては、上記動作環境の条件を満たしていても、正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
 - * 「Yamaha Steinberg USB ドライバー」は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記 URL をご覧ください。
2. 「Yamaha Steinberg USB ドライバー」をコンピューターにインストールします。
ダウンロードしたファイルに付属されているインストールガイドをご参照ください。
3. インストール終了後、起動中のすべてのアプリケーションを終了し、コンピューターのオーディオ出力先を、接続している THR ギターアンプのモデル名 (THR10/THR10C/THR10X/THR5/THR5A) に設定します。
設定はそれぞれ以下の画面で行ないます。

Windows の場合

コントロールパネル→サウンド→【サウンド】タブ

Macintosh の場合

システム環境設定→サウンド→【出力】タブ

● THR Editor のインストール

THR Editor を使うと、THR ギターアンプのエフェクトや音色を細かく編集することができます。編集した設定は THR ギターアンプ本体に保存することができます。

【インストールの手順】

1. 下記のサイトにアクセスし、「THR Editor」をダウンロードします。
<http://download.yamaha.com/>
2. ダウンロードしたファイルを実行し、表示される画面の指示に従って THR Editor をインストールします。
3. THR Editor の設定および操作については、THR Editor の操作説明書やヘルプガイドを参照してください。

● Cubase AI のインストール

THR ギターアンプには、steinberg 社製音楽編集ソフトウェア「Cubase AI」のダウンロードアクセスコードが付属しています。「Cubase AI」を使うと、THR ギターアンプに接続したギターの演奏の録音や、曲の編集ができます。

【Cubase AI の動作環境】

最新の情報は、以下のスタインバーグのウェブサイトをご参照ください。

<http://japan.steinberg.net/>

【インストールの手順】

「Cubase AI」のインストールにはインターネット接続環境が必要です。同梱の「Get CUBASE AI now」の内容にしたがって、ソフトウェアをダウンロード、インストールしてください。

■ 接続と操作

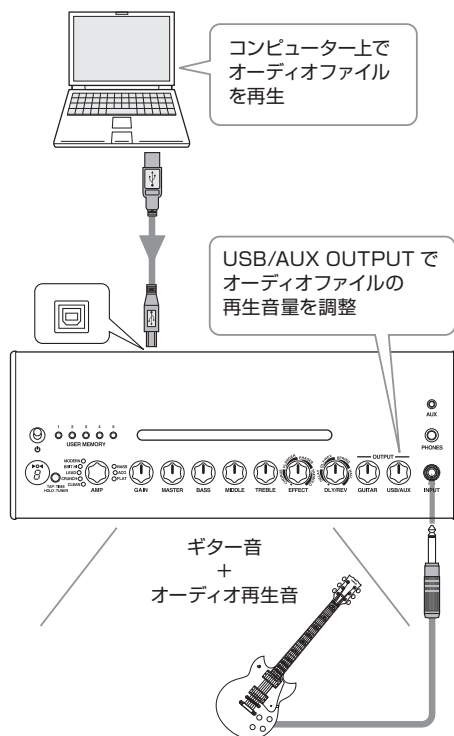
① コンピューターで再生したオーディオファイルを THR ギターアンプで鳴らす

「Yamaha Steinberg USB Driver」をインストールし、オーディオ出力先に接続している THR ギターアンプのモデル名 (THR10/THR10C/THR10X/THR5/THR5A) を選んでおきます (34 ページ)。

下図のようにコンピューターの USB 端子と THR ギターアンプの USB 端子を、付属の USB ケーブルで接続します。

コンピューター側で再生したオーディオを THR ギターアンプで鳴らすことができ、それに合わせてギターを鳴らすことができます。THR10/10C/10X では、USB/AUX OUTPUT でオーディオの音量を調整することができます。

* THR5/5A では、オーディオの音量調整はコンピューター側で行なってください。



コンピューターと接続して使ってみよう

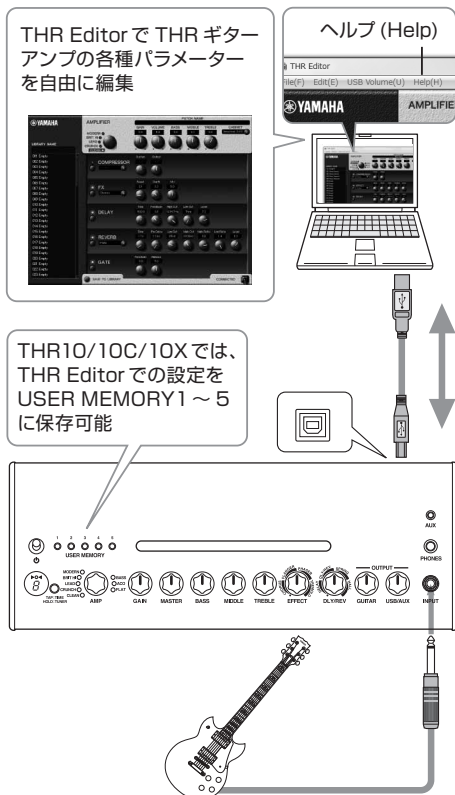
② THR ギターアンプのエディットをコンピューターで行なう

「THR Editor」をダウンロードし、インストールしておきます (34 ページ)。

下図のようにコンピューターの USB 端子と THR ギターアンプの USB 端子を、付属の USB ケーブルで接続します。

THR Editor では、下図のような画面上で THR ギターアンプの各種設定 (パラメーター) を変更することができます。編集した設定をコンピューターに保存し、ライブラリー化することができます。THR10/10C/10X では、USER MEMORY ボタンを長押しすることで、現在編集中の設定を本体メモリーに保存することができます。

* 詳しい設定 / 操作方法については、THR Editor の取扱説明書やヘルプ (下図参照) をご参照ください。



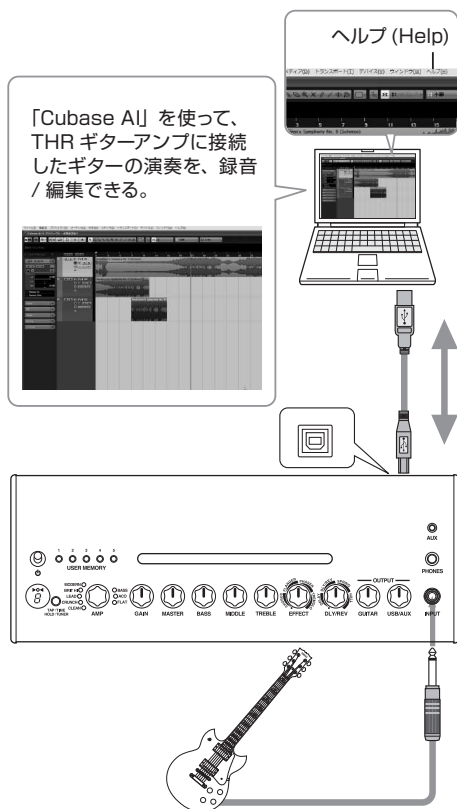
③ 「Cubase AI」を使って録音する

「Cubase AI」をインストールしておきます (34 ページ)。

下図のようにコンピューターの USB 端子と THR ギターアンプの USB 端子を、付属の USB ケーブルで接続します。

「Cubase AI」では、THR ギターアンプに接続したギターの演奏をコンピュータに録音したり、録音したデータを編集したりすることができます。

* 詳しい設定 / 操作方法については、「Cubase AI」の取扱説明書やヘルプ (下図参照) をご参照ください。



困ったときは？

電源が入らない

- ・電源アダプターは正しく接続されていますか？（→ 33 ページ）
- ・電池は正しくセットされていますか？（→ 33 ページ）

音が鳴らない

1) 楽器の音が鳴らない

- ・INPUT 端子に楽器が正しく接続されていますか？（→ 32 ページ）
- ・楽器のボリュームは上がっていますか？
- ・GAIN, MASTER, GUITAR OUTPUT (THR10/10C/10X), VOLUME (THR5/5A) の設定が0になっていませんか？（→ 29、30 ページ）
- ・AMPでCLEANを選択している場合、トーンコントロールがすべて0の位置では音が出ません。（→ 27 ページ）
- ・PHONES 端子にヘッドフォンが接続されていませんか？（→ 30 ページ）
- ・THR Editor（→ 34 ページ）で Compressor の Output を0に設定していませんか？
- ・チューナー機能がオンになっていませんか？（→ 27 ページ）
- ・楽器との接続ケーブルは断線していませんか？

2) コンピューターで再生したオーディオが鳴らない

- ・USB ケーブルは正しく接続されていますか？（→ 32 ページ）
- ・「Yamaha Steinberg USB Driver」は正しくインストールされていますか？（→ 34 ページ）
- ・「コンピューターと接続して使ってみよう」に従って、オーディオ出力ポートは正しく設定されていますか？（→ 34 ページ）
- ・コンピューターもしくはアプリケーションの出力が、ミュートまたは消音になっていませんか？
- ・THR10/10C/10X の場合：USB/AUX

OUTPUT の設定が0になっていませんか？（→ 30 ページ）

- ・USB ケーブルは断線していませんか？

3) AUX 入力からの音が鳴らない

- ・AUX との接続ケーブルは正しく接続されていますか？（→ 32 ページ）
- ・接続した機器の音量設定は上がっていますか？
- ・THR10/10C/10X の場合：USB/AUX OUTPUT の設定が0になっていませんか？（→ 30 ページ）
- ・AUX との接続ケーブルは断線していませんか？

(THR5/5A の場合) USB 端子に接続したコンピューターからのオーディオの音量が小さいまたは大きい。

- ・コンピューターで THR Editor を起動し、「USB Volume」で音量調整してください。（→ 34 ページ）

タップテンボが設定できない

- ・DLY もしくは DLY/REV が選択されていますか？それ以外のエフェクトにはタップテンボは設定できません。（→ 27 ページ）

パワーランプが点灯しない

- ・THR Editor（→ 34 ページ）で [Preference] の [Power Lamp] を ON に設定してください。

LED ディスプレイに#が表示される

- ・エクステンデッド ステレオ設定がオフになっている場合は#が表示されます。（→ 27 ページ）

オーディオ再生時にノイズが発生する

- ・ギターアンプの音量を下げてください。

THR Editor でパラメータ変更ができない

- ・本体のチューナー機能がオンになっていませんか？チューナー機能をオフにしてください。（→ 27 ページ）

仕様

デジタル部

・搭載アンプシミュレーション

- THR10:** CLEAN, CRUNCH, LEAD, BRIT HI, MODERN, BASS, ACO*, FLAT
- THR10C:** DELUXE, CLASS A, US BLUES, BRIT BLUES, MINI, BASS, ACO*, FLAT
- THR10X:** POWER I, POWER II, BROWN I, BROWN II, SOUTHERN HI, CLEAN, BASS, FLAT
- THR5:** CLEAN, CRUNCH, LEAD, BRIT HI, MODERN
- THR5A:** CONDENSER*, DYNAMIC*, TUBE*, NYLON*, EG CLN
* マイクシミュレーション

・搭載エフェクト

- THR10/10C/10X/5:**
- ・ CHORUS, FLANGER, PHASER, TREMOLO
 - ・ DELAY (**THR10C:** TAPE ECHO), DELAY/REVERB (**THR10C:** ECHO/REVERB), SPRING REVERB, HALL REVERB
 - ・ COMPRESSOR*
 - ・ NOISE GATE*
* THR Editor でのみ設定可能
- THR5A:**
- ・ COMPRESSOR, COMPRESSOR/CHORUS, CHORUS, FLANGER*, PHASER*, TREMOLO*
 - ・ DELAY, DELAY/REVERB, HALL REVERB, SPRING REVERB*
 - ・ NOISE GATE*
* THR Editor でのみ設定可能

・クロマチックオートチューナー内蔵

コントローラー / スイッチ

- THR10/10C/10X:**
AMP, GAIN, MASTER, BASS, MIDDLE, TREBLE, EFFECT, DLY/REV, GUITAR OUTPUT, USB/AUX OUTPUT, USER MEMORY スイッチ × 5, TAP/TUNER スイッチ
- THR5:** AMP, GAIN, MASTER, TONE, EFFECT, DLY/REV, VOLUME, TAP/TUNER スイッチ
- THR5A:** MIC TYPE, BLEND/GAIN, MASTER, TONE, EFFECT, DLY/REV, VOLUME, TAP/TUNER スイッチ

ディスプレイ

LED × 1

接続端子

INPUT (標準フォンモノジャック)
PHONES(標準フォンステレオジャック)
AUX (ステレオミニジャック)
USB 2.0
DC IN

A/D コンバーター

24 ビット + 3 ビットフローティング

D/A コンバーター

24 ビット

サンプリング周波数

44.1 kHz

メモリー数 (THR10/10C/10X のみ)

ユーザーメモリー : 5

入力レベル

GUITAR IN : -10 dBu
AUX IN : -10 dBu

PHONES 出力レベル

10 mW

定格出力

10W (5W + 5W)

電源

電源アダプターまたは電池で駆動

・電源アダプター

- (EADP-38EB AまたはUIB345-1530またはUNT345-1530)
- ・ 入力 : AC100V, 50/60 Hz
 - ・ 出力 : DC15V

・電池 (単三形アルカリ電池またはニッケル水素電池 (eneloop) × 8 本)

- ・ 電池寿命 * : アルカリ電池 約 6 時間
ニッケル水素電池 約 7 時間
* 使用状況により異なる

消費電力

18W

寸法 (W x H x D)

THR10/10C/10X: 360 × 183.5 × 140mm
THR5/5A: 271 × 167 × 120mm

質量

THR10/10C/10X: 2.8 kg
THR5/5A: 2.0 kg

付属品

- ・ 電源アダプター
- ・ USB ケーブル
- ・ ステレオミニケーブル
- ・ 取扱説明書 (本書)
- ・ Cubase AI ダウンロードアクセスコード

* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■保証とアフターサービス

- **保証書** 保証書は、販売店にて「販売店印、お買い上げ年月日」の押印、記入をしてお渡し致しますので、お買い上げの際にご確認の上、大切に保管ください。
- **保証期間** お買い上げ日から 1 年間です。
- **保証期間中の修理** 保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理について** 修理可能な部分は、ご要望により有料にて修理させていただきます。但し、修理料金の金額や補修部品の保有期間の都合により、相当品の代替購入をおすすめする場合もございます。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持ち込み窓口）

◆修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

- ・ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※ 一般電話 / 公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは **053-460-4830**

FAX でのお問い合わせ：東日本地域 (03) 5762-2125 (北海道、東北、関東、甲信越、東海 地域)
西日本地域 (06) 6649-9340 (九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸 地域)

受付時間：月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

◆修理品お持ち込み窓口

受付時間：月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

※ お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

ヤマハ東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル 14 号棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

ヤマハ西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 1 丁目 13-17 ナンバ社ビル 7F
FAX (06) 6649-9340

ヤマハお客様コミュニケーションセンター

お買い上げの楽器の使用法や取り扱いについては、ご購入店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

- ・ヤマハお客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-013-808

※ 一般電話 / 公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは **053-411-4744**

受付時間：月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

サポートについて

Cubase AI については、ソフトウェアのインストール、アクティベーション、バンドルされているハードウェアとの初期設定など、ご購入から使い始めまでの簡易サポートのみ行なっております。あらかじめご了承ください。

Cubase AI については、Steinberg 社のホームページをご覧ください。

Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や、最新のアップデートのダウンロード、FAQ などを右記 URL にて公開しております。 <http://www.steinberg.net/jp/>

Cubase AI の [ヘルプ (Help)] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。
(ヘルプメニューには、Cubase AI の PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

持込修理

保証書

This warranty is valid only in Japan.

この度はヤマハギターアンプをお買い上げ戴きましてありがとうございます。本書は、無償修理規定により無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	ギターアンプ		
※品番			
※製造番号			
保証期間	本体	お買い上げの日から1ケ年間	
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
	ご住所		
	ご氏名		様
	電話	()	

ご販売店様へ
※印欄は必ずご記入してお渡しください。

※販売店	
店名	印
住所	
電話	()

※ この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用いたします。

株式会社ヤマハミュージックジャパン
LM 営業部営業企画課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5445

無償修理規定

- 保証期間において正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には無償修理を致します。
 - 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
ご贈答品、ご転居後の修理について、お買い上げの販売店にご依頼できない場合には、最寄りの※ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
 - 保証期間内で次の場合は有料とさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店の記入がない場合、本書の字句を書き換えられた場合
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障、損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障、損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害などによる故障、損傷
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金
 - この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は再発行しませんので大切に保管してください。
- ☆ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合はお買い上げの販売店、または※ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

販売店様へのお願い

お客様のお買い上げ時点で保証書に所定の事項をご記入のうえ、お客様にお渡し下さるようお願い申し上げます。

